

## 新型コロナウイルス長引く休校

# 画面越し 級友と交流

みんなで……読もう

新型コロナウイルスの影響で学校の休校措置が続く中、勝山市平泉寺小の5、6年生たちが、パソコンなどを使ったオンラインの交流会を楽しんでいる。画面越しながら友人たちの元気そうな顔を見て、子どもたちは満面の笑み。「学校が始まったらみんなと遊びたい」などと、学校の再開を心待ちにしている様子だった。

(桂知之)

### 勝山・平泉寺小5、6年生

## オンラインでおしゃべり



パソコンでクラスメートと交流する平泉寺小の児童  
4月22日夜、勝山市内

当初は4月に学校が再開する予定だったものの延長が決定し「2カ月近く

家族以外と触れ合う機会がないのは大きなストレスになる」と、PTA役員の大林博明さん(38)ら保護者で対策を検討。5、6年生の15人は複式学級のクラスメートで「友達と話せば、ストレスも軽くなるだろう」と、ビデオ会議アプリ「Zoom(ズーム)」を用いた交流会を立案した。

交流会は4月9日に始め、3回目の22日には「学校が始まったらしたいこと」を1人ずつ発表。「鬼ごっこをして遊びたい」「いっぱいしゃべりたい」と級友との再会を楽しみにしていた。発表の後は自由な会話。「宿題は終わった?」「まだ残ってる

よ」「こっちは、もう終わったあー」などいろいろなことを話し、大はしゃぎしていた。企画した大林さんは「子どもたちがうれしそうに良かった。少しでも休校の悪い影響がなくなればいいと思う」と話した。